

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年10月15日～10月21日)

平成 27 年 (2015 年) 10 月 23 日

H E A D L I N E S

## 政治

ドゥダ大統領、国家発展評議会のメンバーを任命  
コパチ首相及びシドゥウオPiS副党首、TV討論で直接対決  
最新の世論調査結果  
コパチ首相、欧州理事会に出席  
偵察旅団の設置

## 経済

干ばつ支援2億ズロチの支払い開始  
9月の鉱工業生産は0.1%増  
9月のコア・インフレ率は0.2%  
10月のインフレ率は対前年同月比-0.7%見込み  
三菱電機が Medcom 社に出資  
PPPプロジェクトが増加  
ポーランドの新車登録台数が上昇  
VWがポーランドでリコール  
ポーランド産リンゴがアジア市場で受け入れ  
ポーランドとリトアニアのガスパイプライン建設計画に欧州委員会が支援

## 大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起  
大使館広報文化センターの開館時間について  
東日本大震災義捐金受付について  
ポズナンにおける領事出張サービスについて  
文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000<http://www.pl.emb-japan.go.jp/index.j.htm>

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内 政

ドゥダ大統領、国家発展評議会のメンバーを任命【16日】

16日、ドゥダ大統領は、大統領諮問機関・国家発展評議会のメンバー87名を任命した。ドゥダ大統領は、任命式において、自らが多様な意見を有するメンバーの選定したことに言及しつつ、ポーランドを強い国家とすべく野心的な発展計画を策定したい旨述べた。

コパチ首相及びシドウウォPiS副党首、TV討論で直接対決【19日】

19日、25日の総選挙を前に与党・市民プラットフォーム(PO)のコパチ党首(首相)と最大野党「法と正義」(PiS)のシドウウォ副党首(同党首相候補)によるTV討論が行われた。TV討論は、経済・社会、外交・安全保障、国家体制の3つのテーマで構成され、両者共に各分野に関する従来の主張を中心に発言した。最後に、コパチ首相は、POの提唱する税一元化等で国民の賃金が上昇し、健全な財政の下で経済が成長する、狂信ではなく健全な理性、宗教国家ではなく市民社会を選択して欲しい旨述べた。一方、シドウウォ副党首は、我々は現政権のようなスキャンダルや空約束ではなく、具体的な政策を実現していきたい、近く政権就任後100日間の立法計画につき

発表する旨述べた。

また、20日、総選挙に参加する全ての政党・選挙連合の代表8名が参加するTV討論が行われ、各代表は年金、税制、財政、難民問題、対ロシア関係、国家と教会の関係、健康保険・医療制度、連立の展望等に関する意見を述べた。

最新の世論調査結果【22日】

20～22日に調査機関 Millward Brown 社が実施した世論調査(対象2,000名)では、最大野党「法と正義」(PiS)及び統一右派が32%、与党第1党・市民プラットフォーム(PO)が20%、統一左派が9%、リシャルド・ベトゥルの近代が8%、クキス'15及びコルヴィンが6%、与党第2党・農民党(PSL)が5%の支持を得ている。

なお、今次総選挙では、下院の足きりライン(政党:5%、選挙連合:8%)の前後に位置する政党が多く、最終的な政権発足の見通しが困難な状況となっている。なお、25日の選挙後、26日に各党の得票率が判明し、最終公式結果は27日に判明する見通しとなっている。

## 外交・安全保障

コパチ首相、欧州理事会に出席【15日】

15日、コパチ首相は難民問題を主要議題とする欧州理事会に出席し、同理事会後に、ポーランドがハンガリーのセルビアとの国境の警備を支援すべく、ポーランド国境警備隊の保有する特殊車両5台、その他の車両数台及び70名の要員をハンガリーに派遣する旨述べた。また同首相は、難民受け入れに関し、V4のみならず多くの国々が難民の配置は受け入れ国の自発的な宣言に基づいて行われるべきだとの意見を有している旨述べた。

偵察旅団の設置【19日】

シェモニャク副首相兼国防相は、ポーランド北東部のビャーウィーストクにおいて、2017年に現在の偵察連隊を発展させた2千名規模の偵察旅団を同市に設置すると発表した。また、ミロスワフ・ロザンスキ・ポーランド軍総司令官は、2015年末までには新規に1千2百名の兵士を雇用し、2016年末までには4千2百名の兵士を新規にポーランド東部の駐屯地に配置する旨述べた。

## 経 済

## 経済・財政政策

干ばつ支援2億ズロチの支払い開始【16日】

今夏の干ばつで被害を受けた農家に対する支援4.5億ズロチのうち2億ズロチの支払いが開始されると農業大臣が発表。また、EUからの2014-202

0年の農業分野の支援は2007-2013年よりも増額されており、ポーランドがEUからの農業支援において差別されているとの指摘は当たらないと発言。

## マクロ経済動向・統計

**9月の鉱工業生産は0.1%増【19日】**

中央統計局(GUS)によれば、9月の鉱工業生産は対前年同月比4.1%増で、8月の対前年同月比5.3%増から1.2ポイント下落。

**9月のコア・インフレ率は0.2%【16日】**

中央銀行(NBP)は、9月のコア・インフレ率が0.2%と発表。前月から0.2ポイント減。また、中央統計局(GUS)によれば、9月のインフレ率は対前年同

月比で-0.8%。

**10月のインフレ率は対前年同月比-0.7%見込み【15日】**

経済省によれば、10月のインフレ率は対前年同月比-0.7%で、主に食料及び衣料品価格の上昇により対前月比プラス0.1ポイントとなる見込み。また中央統計局(GUS)は、9月の消費者物価は対前年同月比-0.8%の見込みと発表。

**ポーランド産業動向****三菱電機が Medcom 社に出資【15日】**

三菱電機は、ポーランドの鉄道車両用電機品メーカーである Medcom 社の持ち分の49%を取得する契約を結んだ。ポーランド当局による認可後に取得が完了する。同社は、プレスリリースにおいて今回の協業を通じ欧州における交通システム事業の一層の強化を計り、200億円の売上高を目指すとして述べている。

**PPPプロジェクトが増加【19日】**

ポーランド投資開発(PARP)等の発表した、熱供給、健康、ごみ処理等の分野におけるPPP(官民パートナーシップ)市場に関する報告書によると、これらの分野でのプロジェクトが拡大しているという。最も効果的に活用できるのは、熱供給の近代化に関するもので、公的部門の関与により一定のサービスの質が担保されるためだという。また、欧州委員会からもこの分野への支援は多いと言われている。

**ポーランドの新車登録台数が上昇【20日】**

欧州自動車工業会(ACEA)によれば、2015年1

ー9月のポーランドにおける累計新車(乗用車)登録台数は258,000台となり、前年同期比5.7%の上昇となった。この数はEUの平均よりも低いという。専門家によれば、大衆車は4%の伸びであったのに対し、高級車は16%の伸びになったという。

**VWがポーランドでリコール【20日】**

ディーゼル排出量改ざんのスキャンダルを受けて、VW社はポーランドで約15万台をリコールすると20日に発表。該当車両の所有者に個別に連絡が行く他、オンライン検索で該当車両を特定できるとのこと。

**ポーランド産リンゴがアジア市場で受け入れ【21日】**

10日にベトナム市場がポーランド産リンゴに解放された他、インド、サウジアラビア、UAEでも受け入れ済みであり、今後はイラン、カナダ、米にも進出予定であるとピエホチンスキ経済大臣が果樹農家との会合で発表。ロシアによる禁輸にもかかわらず「ただ一つのリンゴも無駄にはしていない」と発言。

**エネルギー・環境****ポーランドとリトアニアのガスパイプライン建設計画に欧州委員会が支援【15日】**

ポーランドとリトアニアを結ぶガスパイプライン建設プロジェクトへ欧州委員会が支援をすることが合意された。ブラッセルでの署名式にはコパチ首相、ユンカー欧州委員長を始めとする関係国首脳が出席した。出席した首脳からは、今回の合意によりバルト

諸国と欧州のガス市場が一つになり、バルト諸国のエネルギー安全保障を向上させ、エネルギー同盟へつながる一歩となる等の発言があった。本プロジェクトはポーランドの Gaz-System 社、リトアニアの AB Amber Grid 社によって行われ、総延長534kmで2019年の完成を予定している。

**大使館からのお知らせ****大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

**ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起**

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

**東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

**ポズナンにおける領事出張サービスについて**

大使館は、10月24日(土)10時から13時までの間、HOTEL Mercure Poznan Centrum内、会議室(ul. Roosevelta 20, 60-829 Poznan)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoujishucchou20151024.pdf>

**文化行事・大使館関連行事****〔開催中〕ポーランドの日本美術傑作展【9月11日(金)～10月25日(日)】**

スタロヴァ・ヴォラ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ポトカルパチェ県, スタロヴァ・ヴォラ市, ul. Sandomierska 1

詳細:

<http://www.muzeum.stalowawola.pl/pl/wystawy/wystawy-czasowe/item/1453-arcydzieła-sztuki-japońskiej-w-kolekcjach-polskich>

**〔開催中〕展覧会「浮世絵との対話」【9月20日(日)～1月3日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の浮世絵展が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/48>

**〔開催中〕展覧会:「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/50>

**〔開催中〕日本人児童・生徒による美術作品展【9月7日(月)～10月30日(金)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、トルン児童美術作品ギャラリーセンター主催による国際美術コンクールに寄せられた日本人児童・生徒の応募作品を展示中です。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**〔開催中〕ポーランドの日本美術傑作展【10月12日(月)～1月31日(日)】**

ヴロツワフ市, ヴロツワフ市博物館主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されています。

開催場所: ドルヌィ・シロンスク県, ヴロツワフ市, Pl. Powstańców Warszawy 5

詳細: [http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi\\_wystaw/zapowiedzi\\_wystaw.html](http://www.mnwr.art.pl/CMS/zapowiedzi_wystaw/zapowiedzi_wystaw.html)

**【開催中】展示会「日本武士の世界：武士の魂と芸術家の技量」【10月17日(土)～12月31日(木)】**

グリヴィツェ市にて、グリヴィツェ市博物館主催による展示会『日本武士の世界：武士の魂と芸術家の技量』が開催されます。葛飾北斎の浮世絵、彫刻、絵画に加え、茶道具、武具、刀剣など、多岐に亘る日本美術品が展示されます。

開催場所：シロンスク県、グリヴィツェ市、ul. Dolnych Wałów 8a

詳細：<http://www.muzeum.gliwice.pl/>

**【予定】日本映画祭【10月24日(土)～28日(水)】**

ワルシャワの映画館 Iluzjon にて「日本映画祭」が開催されます。各映画入場料 15PLN。(日本語音声、英語・ポーランド語字幕付)

上映スケジュール：

24 日(土) 19 時～ 「四十九日のレシピ」タナダユキ監督作品

25 日(日) 20 時～ 「武士の献立」朝原雄三監督作品

\* 上映前：江戸時代に関する講演

26 日(月) 20 時～ 「ラーメン侍」瀬木直貴監督作品

\* 上映前：ラーメンのデモンストレーション・販売及び講演(八木皓平氏)

27 日(火) 20 時～ 「ラーメンより大切なもの～東池袋 大勝軒 50 年の秘密～」印南 貴史監督

\* 上映前：ラーメンのデモンストレーション・販売及び講演(UkiUki)

28 日(水) 20 時～ 「二郎は鮎の夢を見る」デヴィッド・ゲルブ監督作品

\* 上映前：寿司に関する講演(泉寿司アロン・タン氏)

開催場所：ワルシャワ市イルジヨン映画館「Iluzjon」, ul. Narbutta 50a

詳細：<http://www.iluzjon.fn.org.pl/aktualnosci/info/569/unknown-countenances-of-japan-part-ii.html>

主催：在ポーランド日本大使館、国際交流基金、イルジヨン映画館

**【予定】文化祭：秋の日本芸術祭（子供向け）【10月25日(日)】**

ワルシャワ市にて、チビワルフアンデーション主催による文化祭『秋の日本芸術祭』が開催されます。武道、漫画、書道、琴、三味線、算盤、折り紙などの日本文化紹介が予定されています。

開催場所：マゾフシェ県、ワルシャワ市、Fabryka Trzciny, ul. Otwocka 14

詳細：<https://www.facebook.com/events/713417675469415/>

**【予定】カントル～足跡【10月29日(木)】**

グダニスク市にて、アマレヤシアター・アマレヤ芸術協会主催による『カントル～足跡』が開催されます。ポーランドと日本のアーティストによるタデウシ・カントル劇の上演が予定されています。

開催場所：ポモージェ県、グダニスク市、シェイクスピアシアター, ul. Wojciecha Bogusławskiego 1

詳細：<http://teatrzeskspirowski.pl/>

**【予定】ウッチ市第19中学校における日本文化デー【10月30日(金)】**

ウッチ市にて、ウッチ市第19中学校主催による『日本文化デー』が開催されます。墨絵、漫画、アニメ、カラオケ、折り紙などの日本文化紹介が予定されています。

開催場所：ウッチ県、ウッチ市、ウッチ市第19中学校, ul. Wapienna 17

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。  
報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。  
記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）